

「昭島市社会教育関係委員

研修会を通して」

奥秋 千代子(中神小地区・7期目)

毎年、昭島市の社会教育に関する4団体(社会教育委員、公民館運営審議会委員、青少年委員、スポーツ推進委員)が研修会を行っています。今年は社会教育委員が幹事となり、2月15日に市役所市民ホールで行われました。

今回は、情報化社会における価値観の多様性についてグループで探求し、関係委員の連携を深めることを目的としていました。最初にワークショップで「ある村で起きた出来事」の物語を読み、そこに登場する妻・夫・医師・牧師のうち、誰の立場、態度に最も共感・支持・納得できたかを話し合いました。私は、妻に最も共感しました。

グループは6人で、そのうち4人が男性であり、他の意見もありましたが、女性2人の妻の立場に対する熱い思いに納得してくれました。しかし、その後「追加情報」を読むと、また違った意見になりました。情報

が加わることにより考えが変わったのです。

この研修を通して、同じ物語を読んでも人々の価値観が違い、考えが異なるのだと思い、それぞれの立場を理解することの大切さを感じました。

研修会後の懇親会では、グループで意見を出し合っていたこともあり、研修の内容で盛り上がり、楽しく交流することができました。次回は私たちスポーツ推進委員が幹事となりますので、楽しいスポーツを企画したいと思っています。



「青少年フェスティバルに 参加して」

松尾 光春(拝三小地区・1期目)

11月20日、青少年フェスティバルが晴天の下、KOTORIホール(市民会館・公民館)で盛大に開催されました。青少年による実行委員会がいろいろな企画を立て、屋内ではダンス、和太鼓、吹奏楽、小学生による合唱、青少年によるバンド・ライブなどが行われ、観客席からは大きな拍手が沸きあがっていました。

また、発展途上国にワクチンを届けるためのペットボトルキヤップの回収、台風10号により被害に遭った岩手県岩泉町への募金活動も、学生たちにより行われました。このほか、前庭では各地区委員会が模擬店を開き、子どもから大人までが食べ物やゲームを楽しんでいました。駐車場では、各種団体による竹馬乗り、ボクシング体験、射的なども行われ、あちらこちらから拍手や歓声が聞こえてきました。私たちスポーツ推進委員は、今年もインドアパタンク、輪投



げ、ストラックアウト、キャッチング・ザ・スティック、ネット・パス・ラリー、ペア・リング・キャッチなどを行いました。子どもたちが多数参加してくれて行列ができるほどで、中には何度も並んで楽しんでいる子どももいました。毎年来ている人、初めての人もいろいろで、大盛況でした。笑顔で楽しんでいる子どもたちを見ると、教える私たちもうれしく思いました。

昨今、スポーツを楽しむ子どもたちが減少している中で、親子で楽しめるスポーツを紹介し、運動不足の解消やコミュニケーションの充実役に役立てられればよいかなと思います。